



ワクチン接種は進んではいますが、感染力の強いデルタ株ウイルスが猛威を振るい、全国でも新型コロナの収束はまだまだ見通せません。

地区敬老会は残念ながら中止となりましたが、各種会合についても、書面開催、リモート開催など、感染状況の変化に応じてそれぞれ知恵を絞って進めていきましょう。コロナに負けず、引き続き、感染防止対策の徹底をお願いします。

区長部会を書面で開催

東京を中心に感染拡大する新型コロナが、鳥取県でも急拡大し、8月3日にステージ3となりましたので、8月8日に予定していた第5回区長部会は書面開催とすることになりました。

協議事項は、①7月の記録的大雨への対応検証、②米里まつりの開催に向けて、③大路山など地域資源の維持保全についての3点で、各町内会での対応や方針案など、それぞれについての意見を書面で回答いただいているところです。

中学生が描く「2030年の米里」

現在、桜ヶ丘中学校に米里地区から83名が通っています。中学校では4つの小学校区別に生徒会が設けられ、各地区での行事への参加など、地域とつながるようにしています。

夏休み前に校区別生徒会が開かれ、そこで生徒の皆さんに「2030年、どんな米里だったらいですか?」という問いを投げかけました。将来を担う子どもたちが自分たちのふるさと「米里」をどう描いているか、大人だけの思いではなく将来を見据えた取り組みを行いたいとの考えからです。

1年生から3年生までの45名から回答がありました。ここでは、その中に多かったキーワードを紹介します。

- 「自然が豊か(多い)」・・・8名
- 「明るい」・・・6名
- 「元気」・・・5名
- 「平和」、「安心・安全」、「楽しい」、「笑顔」、「米」・・・4名
- その他、「地域行事(活動)」(3名)、「仲がいい」(2名)、「地域の人との関わり」(2名)、「意見が出し合える」(1名)、「いなか感」(1名)など。



2030年、皆さんはどんな米里だったらいですか?

米里におけるSDGs(2030年までに達成すべき目標)と一緒に考えてみましょう。

「流域治水」で意見交換会を開催



7月18日(日)、雲山南団地集会所で、県による流域治水の説明と意見交換が行われました。関係する市内8地区で随時開催されるものですが、美保南地区に続く開催となりました。

会場には、雲山南、東雲山、雲山中央の3町内会から町内会役員や自主防災会役員の皆さんら16名が参加し、解説映像を視聴し、県担当者からの説明を聞いた後、様々な意見や要望が交わされました。

意見交換では以下のようなやりとりがありました。

- ・雨水タンクの効果や設置費用は? ⇒次回以降に示したい。
- ・7月7日の豪雨ではゴミが流れていき下流で詰まり排水不良が見られた。⇒下水道も処理能力を超えている。住民による住宅地の側溝や水路の清掃・管理も大切。
- ・(地区内に)避難タワーなど避難場所を確保できないか? ⇒現在計画はない。
- ・雲山3地区は避難するにしても旧米里ではなく美保や面影に避難したい。避難対策についても美保や面影と一緒に考えていきたい。
- ・河川監視カメラのページにアクセスできなかったため、サーバーを強化してほしい。河川監視カメラも増設してほしい。

なお、旧米里地区での開催は7月豪雨対応のため延期されましたが、10月以降の開催が予定されています。

いざ!という時に備えて防災勉強会を開催

7月31日(土)、自主防災会連絡協議会では、鳥取市危機管理課から防災アドバイザーに来ていただき、秋の防災訓練の前に勉強会を開催しました。

参加は、各町内会自主防災会長ら10名程度で、ハザードマップなど防災に役立つ地図情報サービス、日ごろからの防災の備え、避難所の開設・運営など、具体的な説明をいただきました。

特に、避難所開設と運営について、地震などの大規模災害時には市職員がすぐには駆けつけられない場合があり、住民や地域が主体となって避難所開設の初動対応を行う必要があるということです。



第2回米里かるたウォークに向けて

昨年度の続編として「第2回米里かるたウォーク」を、10月10日(日)に越路ルートで行う予定です。スタート地点の越路までバスで移動し、米里かるたの名所を歩いて巡ります。なお、事前の環境整備や道路の安全確保等で関係する皆様にご協力をお願いいたします。また、小学生の友だち同士でも参加できますので、皆さん奮ってご応募ください。(青少年育成協議会会長 山田剛)